

38 「図書館だより教職員版」の発行、棚ジャック、 教員によるビブリオバトルのデモンストレーション

山梨県 山梨県立山梨高等学校

基本データ

| | |
|--------|------------|
| 所在地 | 山梨市上神内川194 |
| 児童生徒数 | 521人 |
| 教職員数 | 38人 |
| 蔵書数 | 27,344冊 |
| 年間貸出冊数 | 2,997冊 |

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】授業改善、教員による利活用の推進

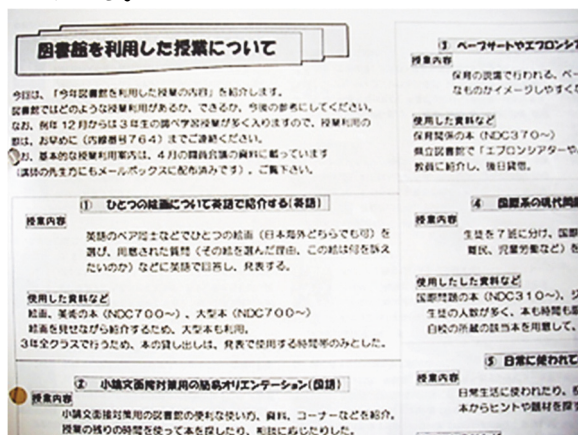
【活動のねらい】

- (1) 「図書館だより教職員版」の発行
教職員への支援姿勢を示し、また興味関心をもってもらうことで、教職員の図書館利活用を促進する。
- (2) 書棚一段を使ったお薦め本の紹介（通称：棚ジャック）
教員が直接図書館活動に関わることで、司書と教員との連携や協力が生まれる。生徒・他の教職員・司書が自分の把握していない本を新たに知ることができ、学校図書館の授業利用や読書活動の推進につながる。
- (3) 教員によるビブリオバトルのデモンストレーション
観戦する生徒や教職員はビブリオバトルに対するイメージをもつことができ、興味をもった生徒にはビブリオバトル大会への参加を促す。教員には授業での実践を促し、本を紹介しあう環境をひろげる一助にする。

取組・活動の概要

(1) 「図書館だより教職員版」の発行

- 新着図書を紹介や特集の内容を生徒用の「図書だより」とは違う内容で、夏休み中の8月を除く11回、司書が発行。
- 教職員支援の一環で、教職員向けの新着図書情報、司書が教職員に伝えたい情報などを盛り込んでいる。



図書館だより教職員版

(2) 書棚一段を使ったお薦め本の紹介 (通称：棚ジャック)

- 読書週間中の企画。
- 5名の教員に依頼し、各教員がおもしろいと思

う本を棚一段分(20~25冊)に展示する企画。

- 本は購入したり、県立学校間等の相互貸借を利用したりする。
- 展示についての表示等は司書が自作で用意。



教員お薦め本企画（棚ジャック）

(3) 教員によるビブリオバトルのデモンストレーション

- 読書週間中の企画。
- 教員4名によるビブリオバトルを行う。
- 開始前に司書がビブリオバトルについて説明し理解を促した。
- パソコン・プロジェクターを使って時間を示した。



教員によるビブリオバトルデモンストレーション

取組・活動の工夫や特徴

(1) 「図書館だより教職員版」の発行

- 多くの教職員に興味をもってもらえるよう、紹介する本の内容や特集内容を教職員用に特化して作っている。

(2) 書棚一段を使ったお薦め本の紹介 (通称：棚ジャック)

- 紹介本は各教員の読書傾向や人柄がでるように、テーマ設定等を行っていない。
- コーナーは目立つよう華やかにし、教員ごとの紹介本が混ざらないようにシールで色分けすることで、来館者の興味を引くよう工夫している。

(3) 教員によるビブリオバトルのデモンストレーション

- 観戦する生徒・教職員が多く集まるよう、告知をした。初めて観戦する者がほとんどであるため、説明は分かりやすく、具体的なものにした。

取組・活動の成果や今後の展望

(1) 「図書館だより教職員版」の発行

- 教職員向けに特化した情報を発信することにより、教職員の図書館利用(授業利用、貸出等)も増えた。
- 各教科の特色のある図書館利用授業の紹介も行っているため、他の教員の取組を知ること、各教員の「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が図られている。

(2) 書棚一段を使ったお薦め本の紹介(通称：棚ジャック)、(3) 教員によるビブリオバトルのデモンストレーション

- 紹介された本を通して、生徒教職員ともにコミュニケーションが生まれている。
- 教員の中には、授業でビブリオバトルを取り入れ、プレゼンテーションのスキルアップに生かしたり、本を気軽に紹介したりする土壌が定着し始めている。
- 今後も、上記の取組を継続し、改善点をいかしていくことを通して図書館の利活用を広げていきたい。